

# 活動報告

勉強会やイベント開催、民主主義を考える取り組みを含め、マニフェストの実現や市政課題の解決、そして地方議会のあるべき姿をめざして日々取り組んでいます(抜粋)。



## 株主総会で、 公約進捗 チェックと 2018年の 活動を採点して もらいました



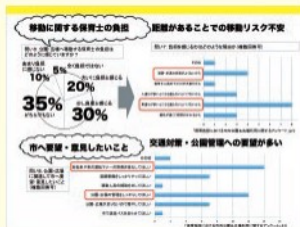
1月下旬、選挙で掲げた公約の進捗チェックと2018年1年間の活動を採点してもらう「シライトオール株主総会」を開催。平均点8.1点(10点満点/※昨年は7.5点)でした。

## オープンな 市政報告 イベントを 開催しています



市政報告&意見交換イベント「議会カフェ(土日昼間)」・「議会ナイト(平日夜)」を市議会定例会(3月・6月・9月・12月)の前後に必ず開催。多様な意見をもらっています。

## 保育園へ アンケート 調査を しました



昨年末、市内保育施設へ広場利用の実態調査アンケートを実施。園庭のない保育園のみならず、幅広い市内の広場・公園利用の実態がみえ、提案に活かしています。



## 世田谷区へ「子どもの権利」に関する視察へ

2月下旬、世田谷区に視察へ。小金井市議会で議員提案した条例改正に関連して、子どもの権利を守るための第三者機関設置の取組を学んできました。



## 高校生インターンシップを受入れました

シチズンシップ教育の一環として、毎年恒例の高校生インターンを3名受け入れました。普段あまり接点のない地方議会の仕組みや議員の仕事についてのリアルを体験してもらいました。

## 編集・発行

小金井市議会 会派:小金井をおもしろくする会  
幹事長:白井 亨 (厚生文教委員、議会運営委員、広報協議会座長)

お問合せ・ご相談など お気軽にご意見ください!

mail kogaomo@gmail.com phone 080-4004-5927 HP kogaomo.com

twitter @shirai106 こがおもfacebook facebook.com/kogaomo blog ameblo.jp/toru-ga-toru



噂の

会派ニュース Vol.82 (定例会特別号) 2019年4月20日発行号

# こがおもマガジン

特集

新年度予算可決も、  
重要課題は先送り

公約の取り組みも見えず

実は、フィクションだった!?



会派

小金井をおもしろくする会

このニュースは政務活動費を使って作成されています



# 定例会 TOPIC

# 2019年度 小金井市一般会計予算

過去最大だった昨年とほぼ同規模の一般会計予算となりました。

# 可決



賛成18

自民4、公明4、みらい3、こがおも1、市民会議1、ネット1、こが明日1、改革連合1、カエル会1、つなこが1



反対5

共産4、情報公開1

※議長は採決には加わりません。

## クローズアップ予算

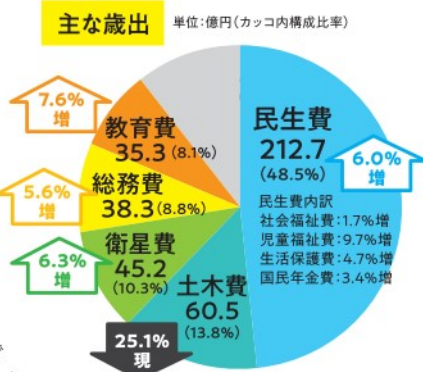
# 438.2億円

(前年比0.5%減)

歳出のほぼ半分を民生費(福祉全般)が占めており、この割合は年々増加傾向に。

**歳入** 納税者が増えたことで市税収入は個人市税を中心に安定しています。しばらく市税増の傾向は続きますが、近い将来に市税増加のピークを迎えることが予想され、担税力のある若者層の市内定着策が課題です。

**歳出** ほぼ半分(48.5%)を民生費(福祉全般)が占めており、この割合は年々増加傾向にあります。今後も右肩あがりで増えるため、歳出全般にわたり、事業効果を見極め効率的かつ政策優先順位付けによる長期的に持続可能な財政運営の仕組みづくりが課題です。



## 主な新規事業

### はげの森美術館をレベルアップ

美術館のHP作成をはじめ、国の指定文化財への登録を期に茶室の修復工事などを実施へ。

### 要望の多かった子育て支援策

病児保育、義務教育子ども医療費助成の拡充(小3まで所得制限を撤廃)、幼稚園への助成を強化へ。

### 私立保育園の巡回相談が実現

昨年一般質問でも取り上げた、私立保育園への専門家の巡回相談派遣を実施へ。

### 教育環境の充実へ一歩前進

子ども3人につき1台のタブレット端末を導入、体育館のエアコン設置(四小で試行)へ。

### 介護人材の確保に向けて

介護職員宿舎借上支援や、初任者研修の実施へ。

## 私の一般質問



### 新庁舎建設

新庁舎建設の設計は、市民がこのまちでどのような暮らしを望んでいるのか?に立脚した視点(コンセプト)を考慮することや、子どもたちが当事者として参加できる仕掛けを求めました。

### 都市計画道路



都市計画道路3.4.11号線に関して、都が意見交換会を実施しない方針へ。市長の動きが遅いため、早急な対応を求めました(結果的に3月11日に都庁に意見交換会の継続を要望へ)。

### 「石表出」問題



栗山公園の多目的広場の「石表出」問題を取り上げ、長期的・抜本的な整備とともに、緊急措置で石を取り除く方策の検討などについて質疑しました。

可決はしたけど...

# 予算の課題

新しい事業が多く生まれ、市民や議会から要望の多かった事業も反映されている一方、歳入構造は硬直化し、長期的な課題は残されたままです。

## POINT 1

市民1人あたり教育費

# 26位

(多摩26市中)

内訳

教育総務費:21位/小学校費:18位  
中学校費:18位/社会教育費:22位  
保健体育費:16位

市民1人あたり民生費

# 23位

(多摩26市中)

内訳

社会福祉費:22位  
児童福祉費:9位  
生活保護費:18位

一方市民1人あたり土木費は **1位** (多摩26市中)

数字で見る限りにおいて福祉や教育にお金を回せていないという実態。懐事情は厳しいですが、だからこそ、長期的視点でビジョンを明確にする必要があると思います。



## POINT 2

# 長期的な課題と、公約への取組が見えない

議会でも多数の会派から指摘があったのは、市政にとって「重要な公約」との整合性です。

「人件費を下げる」

▶ 人件費総額増と職員数増

「市のグランドデザイン策定」

▶ 昨年自ら予算削除しその後のアクションは皆無

「公共施設のグランドデザイン策定」

▶ 個別施設計画をつくる方針

「子育て環境日本一」

▶ 日本一のためのロードマップも指標もない

「経常収支比率80%台」

▶ 市長就任後右肩あがり(90.8%→94.3%)

公共施設マネジメント、特に床面積の6割を占める学校建て替えや長寿命化に対応する基金が未だに創設されておらず、長期的な課題が先送りされています。



私の意見

資料を分析すると、新規事業やレベルアップに対して、事業の廃止・レベルダウンは100分の1程度の額のみ。昨年の決算審査でも強く主張したが、事務事業の見直しの仕組みづくりと、公共施設マネジメントへの本腰を入れた取組を!